

自動運転バスの社会実装に向けて、川口市と連携協力に関する協定を締結しました。



(左)当社社長・南正人 (右)奥ノ木信夫・川口市長

バス・ホテルなどの事業を展開する国際興業株式会社（本社：東京都中央区 社長：南正人）と川口市（市長：奥ノ木信夫）は、「近未来技術等社会実装事業連携協定」（以下：本連携協定）を平成31年1月29日に締結しました。

本連携協定は、内閣府の近未来技術等社会実装事業において平成30年8月に選定された、川口市の自動運転バス運行実証実験に関する連携協定であり、当社では川口市がおこなうSKIPシティとSR鳩ヶ谷駅間における自動運転バスの実証運行において、運転士の派遣や安全面や社会受容性などに関して実証運行で得られた情報を交通事業者の立場から分析などをおこなう予定です。

弊社では本社会実装事業等を通じて安全安心な地域公共交通の充実・発展を図り、地域住民や川口市を訪れた方々の利便性向上を図って参ります。

〈川口市との連携協定の締結について〉

【目的】

双方が有する資源や、自動運転などの最新技術を最大限活用し、川口市における地域公共交通の更なる充実と発展による「住み続けたいまち」の実現に資する為、相互に連携協働すること

【連携事項】

1. 自動運転バスの社会実装に関する事項
2. 近未来技術等社会実装事業に関する事項
3. その他、上記目的を達成するためお互いに必要と認める事項

【有効期間】

2019年1月29日～2021年3月31日